

耕畜連携の先進事例を学ぶ

～香取市耕畜連携農業推進協議会を視察～

安房農業事務所改良普及課 令和5年1月13日発

安房地域の稲WCSにおける耕畜連携では、連作による収量低下、品質の不安定さ、茎葉型専用品種面積の伸び悩み、価格設定等様々な問題があります。そこで安房農業事務所では地域内の水稻生産者、酪農家、コントラクター組織、市町、JA等12名と共に、香取市耕畜連携農業推進協議会への視察を令和5年1月11日に行いました。

香取市では市役所が協議会の事務局となって様々な調整を図り、生産者の意見を集約するために組織化を行っています。しかし香取市のように非常に耕畜連携が進んでいる地域であっても、価格設定、機械更新が悩みの種であることがわかりました。またTMRセンターを見学し、稲WCSの効率的な利用についてもお話を伺いました。香取市の事例を参考に、安房地域でのあり方を模索することが今後必要です。農業事務所では市町等の関係機関と連携し、地域の耕畜連携を進めていきます。

※TMRセンターとは、牛の混合飼料を製造する給食センターのような施設です。



座談会形式で香取市の皆さんからお話を伺いました



TMRセンターで稲WCSロールの開封を見学